

# 検査ニュース

No.168①

ご挨拶

平素より佐賀県医師会成人病予防センター業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
今回は、「検査内容変更」、「新規検査項目」、「検査受託の中止」について、ご案内いたします。

佐賀県医師会成人病予防センター  
担当理事 志田 正典

## ●検査内容変更

(平成 28 年 4 月 1 日ご依頼分より)

### ◆ヘモグロビンA1c (HbA1c)の国際標準化 (NGSP値) のみの報告について

当センターにおけるヘモグロビンA1c (HbA1c) の結果報告については、平成24年4月1日から「NGSP値とJDS値」を併記しています。厚生労働省および日本糖尿病学会などの関係団体における協議の結果、NGSP値単独表記・使用を推進するとの基本方針が決定しておりました。今回、この運用に対応するため、**「NGSP値のみ」のご報告**とさせていただきます。

### ◆CRP (定量)の報告下限値の変更について

**CRP (定量)の報告下限値を再設定し、0.01 から 0.09 までの数値をご報告**いたします。

下限値の変更に伴う、基準値の変更はございません。

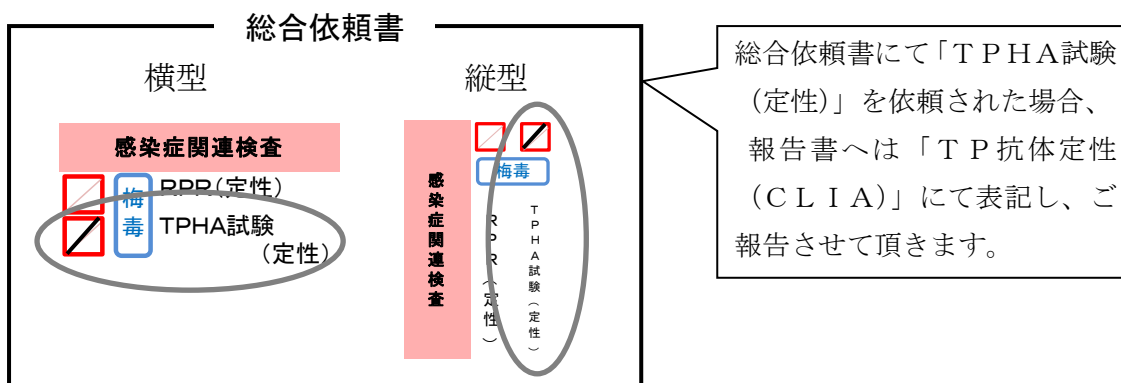
案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	変更内容	新	現
81	401	CRP (定量)	報告下限値	0.01 (mg/dL)	0.10 (mg/dL)

### ◆「梅毒・TPHA試験 (定性)」の検査項目名変更について

梅毒・TPHA試験 (定性) は、項目名を保険収載名称「梅毒トレポネーマ抗体定性」に合わせ、また、測定法を明記した「TP抗体定性 (CLIA)」といたします。

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	検体量 (mL)	容器	実施料判断料	所要日数	検査方法	基準値 (単位)
60	413	TP抗体定性 (CLIA)	血清 0.3	スピッツ	32 ※5	1日	CLIA	(-)

※5 免疫学的検査判断料



## 検査ニュース

No.168②

## ●検査内容変更 ②

(平成 28 年 4 月 1 日ご依頼分より)

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	変更内容	新	現	備考
44	1234	レムナント様リポ蛋白 コレステロール (RLP-C)	検査方法	酵素法	免疫吸着法	より特異性の 高い試薬に変更
			検体量	血清 0.5ml	血清 0.2ml	
			所要日数	2～4日	3～5日	
			報告範囲	1.0未満、 1.0～99900000	2.0以下、 2.1～999999.9	
50 87	2623	オステオカルシン	検査方法	ECLIA	RIA固相法 (IRMA)	現試薬販売 中止に伴う変更
			検体量	血清 0.3ml	血清 0.2ml	
			所要日数	2～4日	3～5日	
			基準値 (単位)	閉経前女性 7.8 ～ 30.8 閉経後女性 14.2 ～ 54.8 男性 8.4 ～ 33.1 (ng/ml)	2.5～13 (ng/ml)	
報告範囲	1.0未満、 1.0～99900000	1.0以下、 1.1～99000000				
55	1433	プロテインC活性	検査法 表記名称	凝固時間法	APTT凝固時間法	
			検体量	血漿 0.4ml	血漿 0.2ml	
			所要日数	2～4日	2～5日	
			報告範囲	10未満、10～299、 300以上	10以下、11～299、 300以上	
—	1440	プロテインS活性	検査法 表記名称	凝固時間法	APTT凝固時間法	機器老朽化に伴う 測定機器・試薬変更
			検体量	血漿 0.4ml	血漿 0.2ml	
			所要日数	2～4日	2～6日	
			基準値 (単位)	M 67～164 F 56～126 (%)	60～150 (%)	
報告範囲	10未満、10～299、 300以上	10以下、11～299、 300以上				
71	2098	HCV抗体価(第3世代)	報告範囲	0.1～83.9、 84.0以上	0.1～99.9、 100.0以上	現試薬販売 中止に伴う変更
74	2081	HTLV-1抗体価(ATLA) (CLEIA)	検体量	血清 0.4ml	血清 0.3ml	現試薬販売 中止に伴う変更
87	2681	コルチゾール	基準値 (単位)	6.24～18.0 (μg/dl)	6.2～19.4 (μg/dl)	改良試薬に変更
			報告範囲	0.05以下、 0.06～99900000	0.1未満、 0.1～99900000	
			備考	(記載なし)	プレドニゾン、メチルプレ ドニゾンと交差反応性が あり、投与中では高値に。	
102	2147	結核菌群PCR	保存温度	冷蔵	凍結	保存温度の変更
102	2151	MAC PCR				

# 検査ニュース No.168③

## ●新規検査項目

### ◆MAST-36

(平成 28 年 4 月 1 日ご依頼分より)

従来の特異的 I g E (MAST-33) に新たな 3 つのアレルゲンを組み合わせて、特異的 I g E (MAST-36) の受託を開始いたします。

新たにアレルゲン (アスペルギルス、トマト、モモ) が追加され、特異的 I g E (MAST-36) となります。アスペルギルスは、自然界において最も普通にみられるカビの一種で、気管支喘息との関連が知られています。モモはバラ科の植物でシラカンバやハンノキの花粉と共通の部分があり、これらの花粉が原因でバラ科の食物アレルギーが誘発されることが注目されています。このように、アレルゲン検査において新たにニーズの高い 3 項目が加わりました。

### ▼アレルゲン一覧

アスペルギルス、トマト、モモが加わりました

コナヒョウダニ、ハウスダスト 1、ネコ皮膚、イヌ皮膚、オオアワガエリ、カモガヤ、ブタクサ混合物 1、ヨモギ、スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ、カンジダ、アルテルナリア、アスペルギルス、ラテックス、トマト、モモ、キウイ、バナナ、ゴマ、ソバ、小麦、ピーナッツ、大豆、米、マグロ、サケ、エビ、カニ、ミルク、豚肉、牛肉、鶏肉、オボムコイド、卵白

※食品の表示義務のある「特定原材料」に関するアレルゲンは下線で、  
表示を奨励されている「特定原材料に準ずるもの」は波下線で表示しています。

検査項目	検体量 (ml)	容器	実施料 判断料	所要日数	検査方法	基準値 (単位)
MAST-36	血清 0.5	スピッツ	1430 ※5	3~5日	CLEIA	MASTクラス0 1.39以下

※5 免疫学的検査判断料

### 【判定基準】

判定	MAST クラス	ルミカウント (LC)
陰性	0	0~1.39
疑陽性	1	1.40~2.77
陽性	2	2.78~13.4
	3	13.5~58.0
	4	58.1~119
	5	120~159
	6	160~200

## ●検査受託中止のお知らせ

(平成 28 年 3 月 31 日 (木) ご依頼分をもって受託中止)

案内書 掲載頁	項目コード No.	検査項目	備考
75	3554	RAPA	平成28年4月1日から保険適用外となるため
75	418	LEテスト	
82	4926	MAST-33	「MAST-36」の受託開始に伴い、平成28年3月31日ご依頼分をもって受託中止。